

教育行政について

代表質問



大田原自民クラブ
新巻 満雄 議員



財政健全化検証委員会について

質問…小中一貫教育の現状と今後の展望等について伺います。

答弁…小中一貫教育を縦軸、コミュニティ・スクールを横軸と促え一体化して推進し、子供たちの人間性、学力、コミュニケーション力、社会適応力の育成と向上を図ることを目標としており、その目標を達成するため、各中学校区では小中学校9年間の系統性を図ったカリキュラム

を作成し、小中学校の先生方が共同して授業力の向上を図っています。児童生徒の交流活動を充実させたり、中学校区で配慮を要する児童生徒の情報共有を行い、子供たち一人ひとりに適した教育環境を整えたりすることなどを中心に、各中学校区で工夫を凝らし取組を進めてきました。また、各中学校区の小中一貫教育に関わる計画について

は、学校だけでなく保護者、地域住民などが委員となり構成している学校運営協議会において承認をいただき、目標達成のための後押しをしていただいています。中学校教員による小学校への乗り入れ授業や、小中学校の合同での授業研究、児童生徒の交流活動、先生方が定期的に話し合う機会など、各中学校区で実施されています。

質問…財政健全化検証委員会による検討事項の進捗状況について伺います。

答弁…本年1月19日に開催、事業費補助金5事業の検証が行われ、現時点での検証結果は、誘致企業に交付する企業等立地奨励金については減額又は改善、学校給食サービス事業費等補助金は廃止、路線バス事業者及びデマンド交通事業者に交付する

地域公共交通活性化事業費補助金については継続、不採算医療等の機能を担う北那須地域の3病院に交付する公的病院等支援補助金については継続、市の融資制度を利用する中小企業者に対する信用保証料補助金については減額又は改善となっている。3月27日に事業費補助金8事業の検証が行われる予定で、会議の結果については、随時市ホー

ムページで公表することとします。本年度及び令和5年度の2年間の検証期間を設けており、令和5年度には検証委員会から助言、提言等の答申がでてから内容を参考に、本市のさらなる財政構造の改善に向けて、引き続き財政健全化の取組を推し進めて参りたいと考えています。